

「みずかがみ」の穂肥時期です!

1. 穂肥の時期と施肥量

○時期

- 4月下旬～5月上旬植えの場合 6月27日頃からと予想。
- 「みずかがみ」などの倒伏しにくい品種の穂肥は、幼穂形成期（出穂25日前）に1回です。
- 幼穂形成期は幼穂長が1mm（右図）の頃です。幼穂長を確認し適期に施用しましょう。
- 穂肥の施用が遅れると玄米タンパク質含有率が高まり、食味低下につながります。



○施肥量

分施体系

- 穂肥の施用量の基準は、窒素成分で 3 kg/10a です。
- 大豆跡栽培では窒素成分で 1.5 kg/10aを目安に施用しましょう。

全量基肥体系

- 原則必要ありませんが、中干し後の茎数が20本/株 未満のほ場では、窒素成分で2kg/10aを目安に穂肥を施用し収量向上を図りましょう。

△「環境こだわり農産物」認証基準を守りましょう△
化学肥料の窒素成分量4kg/10a以下!

2. 熱中症対策を行いましょ!

農作業中は、こまめな塩分・水分補給や休憩を行い、健康管理には十分注意するよう心がけましょう。

